

「労働法制改悪阻止！」福島県中央街頭集会

「STOP THE格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーン

～福島駅東口に約300名が街宣結集～

連合福島と県北地域連合は「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーン・労働法制改悪阻止！を求める全国一斉行動として、5月27日午後6時からJR福島駅東口（中合前）にて、街頭集会と街宣行動を展開した。

冒頭、主催者を代表して今泉裕連合福島会長は「収入の格差は教育の格差につながる。社会の不条理をなんとか正して行かなければならない。過労死者が毎年100人以上出ている現実に、長時間労働を強いる労働者保護ルールの改悪法案は絶対許すわけにはいかない。労働者の声を結



集し断固阻止しよう。」と挨拶した。引き続き、来賓として挨拶する小川社民党県連代表と亀岡民党県連幹事長が応援に駆け付けて頂いた、民主党福島県連亀岡義尚幹事長と、社民党福島県連小川右善代表のお二人から激励のご挨拶を頂いた。

さらに、福島地区連合伊藤秀治議長がアピール宣言を読み上げ、労働法制改悪に反対する決議を満場一致で採択した。連合福島と県北地域連合から約300名が参加し、集会と同時並行で道行く人々にティッシュを配ったりしながら、市民の皆さんに理解と協力を求めた。最後は加藤光一連合福島事務局長の力強いガンバロー三唱で、集会と街宣行動は閉会となった。



連合福島加藤事務局長の力強いガンバロー三唱



主催者を代表して挨拶する連合福島今泉会長



集会に参加された構成組織の皆さん



今こそ暮らしの底上げを！

